



第100号  
発行所  
(株)タムラカントウ  
安全衛生協力会  
千葉県美浜区新港223-2  
☎043-246-2751  
発行責任者  
佐藤 誠  
発行令和5年12月1日

### 安全に妥協なし



取締役社長 田村 真光  
ご苦勞様  
です。11月  
1日より54  
期がスタート  
しました。

前期中は無事故無災害を達成出来た事に感謝申し上げます。そして、例年を上回る過酷な猛暑を乗り越えて、熱中症ゼロで完走しました。日々の体調管理が身に付き、成果を発揮していると思えます。施工現場では元方の積極的な安全対策に加え、熱中症対策にも注力頂だいての結果と受け止め、引き続きのご指導をお願い申し上げます。

さて、今後数年継続すると思われる繁忙時期に突入して参りました。しかし、ニュース等でご存じと思いますが、全国の建設現場で過去に見えない重大事故が多発している中、我々は業務を遂行しなければなりません。安全を得るには、何が原因で事故が頻発しているのか、その事実を真摯に見つめ直し対策を講じなければなりません。社員・協力業者を守る事を第一に考慮し、危険を感じる場面を作

らない環境を提供し、身を守る為には作業のストップも辞さない覚悟が必要です。現場で安全に対して、絶対にしてはならない事があります、それは「妥協」です。現場施工に携わった方々は経験有ると思いますが、最悪で悪魔の囁き「まあいいかー」この一言が事故・モラル低下の引き金になっていると確信致します。例えば、足場上で作業していて、一旦降りて設置し直せば、無理なく作業できるのに継続して結果落下する。1分近いから危険箇所を通過して、転倒・墜落する。モラルの面でも、路上喫煙・ごみのポイ捨て・迷惑駐車・大声で歩きながら話す等々、例を挙げれば切りがない不安安全行動・迷惑行為を誘発しております。真剣に身を守る事(社会的地位)を考えて行動しなければなりません。身を守るII危険作業をしない、社会人としての常識的行動、この当たり前の事項を実行出来ない要因である、「まあいいか」を排除しなければ永遠に事故は繰り返して起り、近隣第三者から白い目で見られる。我々建設業界も過去と比べれば、格段に作業環境整備が向

上しました。しかし人の本質は変わらず、安全設備は整っているのに事故が起る現状を、打破する為にはやはり妥協せず「自分の身は自分で守る」の原点に戻り、危険作業は絶対にしない！目で見て改善された安全・安心を確認して作業に入る「癖」を身に着ける。そして教育指導を繰り返して実施する事で、今期も無事故無災害の継続を目標に尽力して参ります。どうか、他人事と思わずご理解、ご協力をお願い申し上げます。

最後に、弊社は危険作業を絶対にするなど指導しており、急ぎの作業でも同様です。妥協して手を出し事故を起こす事を絶対に許しません。厳しい態度で臨みますのでどうかご理解ご協力をお願いしてご挨拶と致します。ご安全に！

### 安全衛生協力会 会長挨拶



(有)佐藤設備 佐藤 誠  
日頃より  
協力会活動  
にご尽力頂  
きまして、  
有難う御座  
います。又、警鐘が記念すべ  
き100号の発刊を無事に迎  
えられましたのも、皆様の協  
力あってのことと言えます。  
何事も継続することが重要で  
あると思います。

さて、近年ではデジタル化が加速しDXやAIなど仕事

や日常生活でもデジタルと切り離せないぐらいに進化が加速しています。しかし、安全活動においてはデジタル化と安全を確保するには、我々自身の目視や指差呼称が重要であって、安全帯を掛ける際には自らの手でフックを掛ける事になります。すなわち、安全確保とはまだまだアナログということ。無事故無災害を追求して行くことは、全作業員が安全に對して正面から向き合い安全確認を行う事で、漸く叶うものです。事故や怪我が発生した原因を見返しますと、基本的な安全確認を怠って発生しているケースが殆どです。安全確認の基本をしっかり熟知し、なぜ必要なのか、その意味を十分に理解した上で、以前から教わって来たアナログな安全活動を確実に継続し、無事故無災害の達成を確実にしましょう。ご安全に！

### 安全とは



取締役副社長 林 良之  
「安全」と  
聞いてどん  
ないイメージ  
を思い浮か  
べますか？  
その人の置かれてる状況や  
立場によって、様々な安全が  
思い浮かぶのではないでしょ  
うか。同じ場所について同じ状  
況下にある人達が、同じイ

メージを持ってなければ安全は確保出来ないと思います。そこにイメージの個人差が生じてしまう事で、事故や災害を引き起こしてしまふ可能性が高まります。個人によって危険と感ずる事に相違が出てしまふギャップこそが、安全行動に繋がります。このギャップを少しでも埋めていく事が安全活動であり、目指す方向性ではと感じます。全員が安全活動に對して、同じ意識を共有して行く事で、誰もが不安な行動をせず、安全に對して真摯に向き合い無事故無災害を達成出来ます。どうすれば同じイメージを共有する事が出来るのか、やはり繰り返し安全教育を徹底して行くしか方法はないと思えます。全員が同じ意識を共有出来るまで、継続して教育して行く地道な活動こそが、無事故無災害を達成させる方法ではないかと思えます。忘れてはならない墜落災害という現実を経験したからこそ、全員が同じ安全に對する意識を持って、日々の作業に取組んで行きましょう。

### 2023年度 「秋季安全衛生大会」 表彰者

1年間の安全衛生成績において、見事受賞に輝きました協力会会員並びに職長の皆様をご紹介させて頂きました。おめでとうございます。

- 社長賞**  
山崎工業 代表 山崎和芳
- 優秀会社賞**  
(株)共進断熱工業 代表取締役 小松 清  
(有)カマタ製作所 代表取締役 鎌田義昭  
(株)遠藤設備 代表取締役 遠藤英明  
(有)櫻井設備 代表取締役 櫻井 誠
- 優良会社賞**  
(株)岩城空調 代表取締役 岩城 修
- 優秀職員賞**  
(有)三幸ダクト 職長 子安茂樹  
(有)櫻井設備 職長 櫻井 勇  
(有)カマタ製作所 職長 金子 悠  
駒崎ダクト 職長 大石寿成
- 努力賞**  
(有)三幸ダクト 竹内健人  
井津ダクト工業 加藤佳人  
(有)カマタ製作所 塩野 哲

**急ぐほどまず確認  
基本守って年末年始**

何かと忙しい年末です  
手順書どおりの安全作業で  
明るい正月を迎えましょう

令和5年12月1日

安全について考える

取締役専務執行役員

営業本部長 寺澤 敬司



警鐘1000号を迎えるにあたり、いま改めて「安全とは何か」を考えてみました。

一般的には「許容できないリスクが無い事」と定義されています。すなわち、許容可能な状態までリスクを低減すれば安全な状態と言えるという事です。我々の働く工事現場には、素のまま安全な場所など無いと思います。このことを忘れるところに危険が生まれるのだと思います。つまり、安全意識の低い人達が危険を生んでいるという事です。

そして生まれた危険を低減するために保護具が進化したり、より厳しい安全ルールが作られていきます。作業効率は低下し、収入は減少し、安全を疎かにするケガをする。更に作業効率が悪くなるルールが生まれる。これを何度も何度も繰り返しているのが現状です。

そもそも危険な場所や働いて我々にリスクゼロの環境などはありません。大事なことは自分達が危険な場所や働いているという意識・自覚だと思っています。自覚が無い人はどんな良い保護具を持っていても正しく装着しないでしょう。良い安全ルールを制定しても守らないでしょう。

実際の現場ではどうでしょう？我々は現場作業に従事している職方さんたちに「客先から不安な状態で作業を頼まれたら断わってください」と日々言っています。しかし客先の担当者は自分たちの不手際を叱責されないがために内緒でやってくれそうな人をお願いして何事も無かったように完了させてしまふ、このような事例はこの現場でも昔から変わらず存在しています。そのほとんどが結果

オーライ的に無事故で済んでいきます。このことは経験を重ねるたびに危険に対する感性を薄れさせていきます。自覚の無い人を生み出します。じゃあどうすればよいのか？その自覚の無い人には「確信犯」と「無知に犯るもの」と二通りあると思いますが、前者後者ともアプローチの仕方は異なると思いますが根気強く周囲で声掛けや教育を続けることしか無いと思います。

建設業の未来

取締役常務執行役員

工事本部長 西廣 裕一



日頃からの安全衛生活動並びに品質向上へ積極的に取り組まれている社員、協力会社の皆様お疲れ様です。これからも継続して安全活動にご協力ください。

今後の建設業界の安全について考えてみました。建設業は重要な産業であり、国内で多くのプロジェクトが実行され将来への期待を受けています。一方では安全性の確保は依然として大きな懸念事項です。その為、これからの安全に関する取り組みは、更なる改善と進化が求められ、次の事の様に考えます。

- 1、教育と実践に基づいたトレーニングが安全意識を高め、事故を減らすために、建設労働者へのトレーニングが一層強化されるべきです。安全な作業方法や新しい技術の導入に関するトレーニングは不可欠です。また、労働者が安全な行動を身につけるために、現場でのリアルタイムのトレーニングと指導が必要です。
2、テクノロジーの活用 テクノロジーは建設業界において安全性向上に大いに貢献できます。ドローン、センサー、リアルタイムモニタリング、ビルディング・インフォメーション・モデリング（BIM）などの革新的なテクノロジーは、現場での危険を監視し、事故を予防するのに役立ちます。
3、安全文化の構築 組織内で当たり前のように安全な作業環境を促進する。労働者が事故の予防に対する責任を共有するよう、異常な状況や危険を報告できる環境を整備されるべきです。また、施工生産性と安全の両立も追及していかねばなりません。
4、リスク評価と計画 現場作業のリスク評価と計画が事故を減少させるのに役立ちます。作業が開始される前に、潜在的な危険を特定し、それに対する対策を計画することが重要です。リスクの軽減策や緊急対応計画が整備されるべきです。
5、持続可能性と環境への配慮 持続可能な建設プラクティスは、安全性と環境への配慮を結びつけます。環境に優しい建材やエネルギー効率の高い設計が採用されることで、安全性が向上し、環境への負荷が軽減されます。
以上が建設業のこれから行う教育、テクノロジー、安全文化、リスク管理、および環境への配慮を組み合わせた包括的なアプローチによって向上します。安全意識の高い労働者と組織、新しいテクノロジーの活用、継続的な教育とトレーニング、そしてリーダーシップの存在が、建設業の未来の安全を確保するために必要になると考えます。ご安全に！

10/6・7 第6回職長技能向上研修を終えて

2021年6月よりスタートした職長技能向上研修も6回目の開催を数えることになりました。カリキュラムのメインは、初日に銚子営業所にて共板エルボの作成、2日目は千葉営業所に移動し「生産性を低下させるダクト形状とは？」をテーマに机上勉強とFGエルボの作成であります。この度選ばれた職長は5名、第一線で活躍されている皆さんに体験学習して貰いました。



た。工場製作と現場取付けの分業時代にあつて、双方の連携を一層深めて、加工図の精度アップや不良ダクトの排除にしっかり取り組み、目指す高品質の提供に繋げる事が主旨です。ご参加の職長さん、今後の活躍に大いに期待します！

マイスターレジエント

10月20日、高砂熱学認定優秀技能者認定式において、(有)カマタ製作所、鎌田義昭会員へ「マイスターレジエント」としての認定証が授与されました。平成19年10月に初代高砂マイスターとして認定されて以降、現場で16年ものご活躍でした。これからも、後進の育成をどうぞ宜しくお願い致します。



『ムルトン成田』懇親食事を終えて

9月8日、ムルトン成田にて全社合同での親睦食事が開催されました。ここ数年新型コロナウイルスの影響から、以前のような大型イベントは全て自粛されてきました。どこか寂しい期間を過ごしてきたかと思えます。社員旅行とは違ったスタイルではありますが、このような形でも開催して頂いて本当に思い出となりました。



中途入社紹介



犬塚 淳 (総合設備) S47年3月28日生 工学院大学電気工学科卒



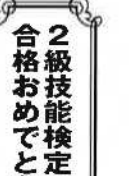
渡邊 大夢 (生産銚子) H16年7月9日生 敬愛大学八日市場高等学校卒



宮内 魁斗 (生産銚子) H17年3月1日生 千葉県立東総工業高等学校卒



佐藤 政典 (生産千葉) S52年11月17日生 東京電機大学大学院 工学研究科電気工学部卒



山田 隆成 (銚子営業所) 先輩方の指導により無事合格出来ました。これからも日々精進して参ります。



多田 翼 (銚子営業所) 合格出来とても嬉しいです。今回の反省を踏まえ次の1級ダクト板金は一発で合格するように頑張ります。



高島 一 (銚子営業所) 先輩から頂いたアドバイスをしっかり活かしたので、合格出来たと思います。



お知らせ (株)タムラカントウ安全衛生協力会の近々の予定をお知らせします。

- ①「年末年始無災害運動強化月間」ミニ安全大会の開催 期間：2023年12月1日～2024年1月15日
②2024年度「定期健康診断」の受診 日時：2024年1月20日(土) 8時～ 場所：(株)タムラカントウ本社
③2024年度「安全祈願」 日時：2024年1月20日(土) 10時30分～ 場所：成田山「新勝寺本殿」
④安全衛生協力会「2023年度通常総会」 日程：2024年3月2日(土) 場所：東京ベイ幕張ホール